

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公表番号】特表2000-516982(P2000-516982A)

【公表日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願平10-511599

【国際特許分類第7版】

C 0 8 F 8/26

C 0 8 F 14/18

【F I】

C 0 8 F 8/26

C 0 8 F 14/18

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月24日(2003.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年12月24日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第511599号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通

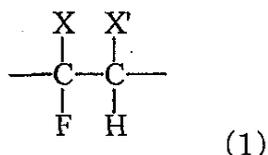


方 式 査



請求の範囲

1. a) 水と、
一般式、



(式中、XおよびX' は、独立して水素または電子吸引基である。) を有する構造配列を含むフルオロポリマーとを含み、有機溶剤を約5質量%未満含むフルオロポリマーエマルジョンを用意するステップと、

b) フルオロポリマーの凝析を生じない濃度および量で、塩基化合物をフルオロポリマーエマルジョンに添加して、水性反応溶液を形成するステップと、

c) 水性反応溶液をフルオロポリマーの脱フッ化水素化を引き起こすのに十分な反応条件に曝すステップと
を含むフルオロポリマーを脱フッ化水素化する方法。

2. フルオロポリマーが、フッ化ビニリデン、ヘキサフルオロプロピレン、および四フッ化エチレンのうちの1つ以上を含む重合したモノマー単位を含み、任意に、前記フルオロポリマーが、

約5~95モル%のフッ化ビニリデンモノマー単位、

約5~30モル%のヘキサフルオロプロピレンモノマー単位、および

約0~65モル%の四フッ化エチレンモノマー単位から誘導され、また、任意に、前記フルオロポリマーがプロピレン及び/又はエチレンのモノマー単位を含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

3. 電子吸引基が、任意に過フッ素化されたものであるフッ素化アルキルまたはフッ素化アルコキシ基である請求項1に記載の方法。

4. 塩基化合物が、アルカリ金属水酸化物、炭酸塩、水酸化アンモニウム、およびそれらの混合物からなる群より選択される化合物を含む請求項1に記載の方法。

5. ステップ(c)において、水性反応溶液が約40~100°Cの範囲の温度に加熱さ

れ、及び／又はフルオロポリマーエマルジョンが約30分間～100時間の範囲の時間
にわたり加熱される請求項1に記載の方法。